

茶寮一松 50周年記念

江戸の芸と味わう

シリーズII

伝統芸能を料亭のお座敷で気軽に楽しむ

歌舞伎や日本舞踊、三味線音楽など、江戸の民衆が育み伝えてきた伝統芸能を料亭のお座敷で気軽に楽しむという企画です。

古典芸能研究家でもある鈴木英一氏が難しいと思われるがちな言葉や背景をやさしく解説し、会席料理を楽しみながら実演を鑑賞していただきます。

老舗料亭の歴史の温もりを感じながら、ゆったりとした時間の中で伝統芸能の魅力を再発見してみませんか。

今年の五月には「三社祭」をテーマにした好評の企画、今秋の趣向は……



写真: 左々波太夫

プログラム

- ・吉原廓のあれこれ解説
- ・花魁道中(座敷内)
- ・お座敷遊び
- ・舞踊「京人形」

出演者紹介

鈴木英一/常磐津和英太夫

歌舞伎を中心とした古典芸能研究家。早稲田大学文学部講師、演劇博物館客員研究員。演奏活動に従事し、歌舞伎座公演などに出演。研究成果を生かした作品の復活作業、創作活動にも携わる。

常磐津文字絵

父・常磐津東蔵。NHK邦楽技能者育成会32期卒業。演奏会・映画・芝居などに出演。今年2月には芝居「対い鶴」の音楽創作および出演。

左々浪太夫(松本錦紫)

日本舞踊は母・松本幸久美より手ほどきを受け。現在は松本流師範・委員、松本流一門会を担当し市川染五郎に師事。新派出身の舞台女優。現在はフリーで活躍。「浅草パラダイス」などにも出演。

曾我廼家寛太郎

大阪生まれ。昭和五十六年松竹新喜劇入門・初舞台。喜劇界のトップランナーになりつつある新生松竹新喜劇の実力俳優。